

2009年6月5日

各 位

オリックス・ゴルフ・マネジメント株式会社

環境配慮の取り組みを全国のゴルフ場、練習場で実施

～ 沖縄の海にサンゴ移植、遊休地を利用した植樹を推進 ～

オリックス・ゴルフ・マネジメント株式会社(本社:東京都港区、取締役社長:岩本 栄一 以下OGM)は、6月6日より環境に配慮した取り組みを行うための募金活動やゴルフボールのリサイクル活動をOGMが運営する全てのゴルフ場(36コース)ならびにゴルフ練習場(2ヶ所)で実施することになりましたのでお知らせします。

沖縄県とかかわりの深いオリックスグループは、昨年7月より沖縄県名護市運天漁港にサンゴを移植するプロジェクト「SANGO ORIX」を実施しており、OGMも昨年10月より沖縄カントリークラブ、オーシャンキャッスルカントリークラブの2コースで本プロジェクトに参加しています。

OGMでは、不要になったゴルフボール、ロストボールを回収する専用BOXと専用募金箱を用意し、その資金でサンゴを移植しています。

既に実施している沖縄2コースでは、2009年3月末現在で募金総額40,772円、ロストボール回収個数は12,859個を達成しました。これにより今夏に200本のサンゴを移植します。

今般、沖縄2コースの活動をOGMが運営する全てのゴルフ場ならびに練習場に広げて、お客さまからの募金と不要になったゴルフボール、ロストボールの回収資金で、今後4年間で合計800本を移植する計画です。

OGMは今後、サンゴ移植活動のほかにも、遊休地を利用した植樹やエコキャップなど環境に配慮したゴルフ場運営を目指してさまざまな取り組みを実施していく予定です。

以 上

< 本件に関するお問い合わせ先 >

オリックス・ゴルフ・マネジメント株式会社

広報担当 / 阿部 Tel : 03-3435-3008

ホームページ <http://www.orix.co.jp/ogm/>

ご参考

< 運営ゴルフ場 >

1. 小名浜カントリー倶楽部（福島県）
2. ニュー・セントアンドリュース ゴルフクラブ・ジャパン（栃木県）
3. ディアレイクカントリー倶楽部（栃木県）
4. 東ノ宮カントリークラブ（栃木県）
5. アゼリアヒルズカントリークラブ（栃木県）
6. ひとつのやカントリー倶楽部（栃木県）
7. 富士OGMゴルフクラブ出島コース（茨城県）
8. かすみがうらOGMゴルフクラブ（茨城県）
9. おかだいらゴルフリンクス（茨城県）
10. アドニス小川カントリー倶楽部（埼玉県）
11. 武蔵富士OGMゴルフクラブ（埼玉県）
12. 富士OGMゴルフクラブ市原コース（千葉県）
13. きみさらずゴルフリンクス（千葉県）
14. 小萱OGMチェリークリークカントリークラブ（岐阜県）
15. 富士OGMエクセレントクラブ御嵩花トピアコース（岐阜県）
16. 稲武OGMカントリークラブ（愛知県）
17. 富士OGMエクセレントクラブ伊勢大鷲コース（三重県）
18. 富士OGMエクセレントクラブ志温泉コース（三重県）
19. 富士OGMエクセレントクラブ伊勢二見コース（三重県）
20. グリーンハイランドカントリー倶楽部（三重県）
21. 奈良若草カントリー倶楽部（三重県）
22. 比良ゴルフ倶楽部（滋賀県）
23. サンリゾートカントリークラブ（和歌山県）
24. けやきヒルカントリークラブ（兵庫県）
25. 六甲カントリー倶楽部（兵庫県）
26. ロータリーゴルフ倶楽部（兵庫県）
27. 三木セブンハンドレッド倶楽部（兵庫県）
28. 富士OGMゴルフクラブ小野コース（兵庫県）
29. ローズウッドゴルフクラブ（兵庫県）
30. 白竜湖ゴルフリンクス（広島県）
31. 千代田OGMゴルフ倶楽部（広島県）
32. いづも大社カントリークラブ（島根県）
33. 浜田ゴルフリンクス（島根県）

- 34. 花祭ゴルフ倶楽部（佐賀県）
- 35. オーシャンキャッスルカントリークラブ（沖縄県）
- 36. 沖縄カントリークラブ（沖縄県）

< 運営練習場 >

- 1. 伊奈ゴルフプラザ（埼玉県）
- 2. OGM神戸ゴルフプラザ（兵庫県）

告知ポスター

**オリックス・ゴルフ・マネジメントは
地球環境保全運動に積極的に取り組んでおり、
その先駆けとして「サンゴ移植」をスタート致しました。**

※本報にも掲載されたサンゴが美しい自然環境の象徴にもなっています。
本報の発行、印刷環境に由来する海産物の利用、オリックスの光景もまた自然環境に由来し、その持続と発展とを共に進めたいと考えています。
本報が大切にしているサンゴ・リネーション・プロジェクトは、この思いを具現化するための取り組みです。持続可能な社会と地球環境保全の両立を目指すべく、本報が先駆けとして「サンゴ移植」をスタートしました。
本プロジェクトを通じて、本報の成長と人々の幸せを共に創り、多様な価値観を尊重すること、高品質な環境保全と共生の社会の実現を目指します。
本報が掲げる「ましまの自然」の取り組みの一環として、オリックス・ゴルフ・マネジメントは先駆けとして取り組んでいます。

サンゴの陸上養殖～移植～モニタリング調査の手順

1. 陸上でサンゴの培養を行います。
サンゴの培養には、サンゴの成長に必要な栄養素を供給する必要があります。

2. 陸上で培養したサンゴを海中に移植します。
移植には、サンゴの成長に必要な環境を整える必要があります。

3. 移植したサンゴの成長状況をモニタリング調査を行います。
モニタリング調査には、サンゴの成長に必要な環境を整える必要があります。

4. 移植したサンゴの成長状況をモニタリング調査を行います。
モニタリング調査には、サンゴの成長に必要な環境を整える必要があります。

5. 移植したサンゴの成長状況をモニタリング調査を行います。
モニタリング調査には、サンゴの成長に必要な環境を整える必要があります。

6. 移植したサンゴの成長状況をモニタリング調査を行います。
モニタリング調査には、サンゴの成長に必要な環境を整える必要があります。

**サンゴや植樹等の活動でCO₂削減に努めるなど、
オリックス・ゴルフ・マネジメントは環境配慮型ゴルフ場を目指しております。**

オリックス不動産

ORIX
Golf
Management

募金箱



ゴルフボール回収BOX



【サンゴ移植の概要】

オリックス不動産株式会社と共同で沖縄県今帰仁村運天(なきんじむらうんてん)漁港前面海域にサンゴを移植してまいります。

オリックス不動産では、「国際サンゴ礁年」である本年7月に400本のサンゴを植え、その後は年間約1,500本を移植していく予定です。オリックス・ゴルフ・マネジメントで今年度200本を目標に移植し、オリックス不動産とあわせて、5年間で合計10,000本の移植を予定しています。

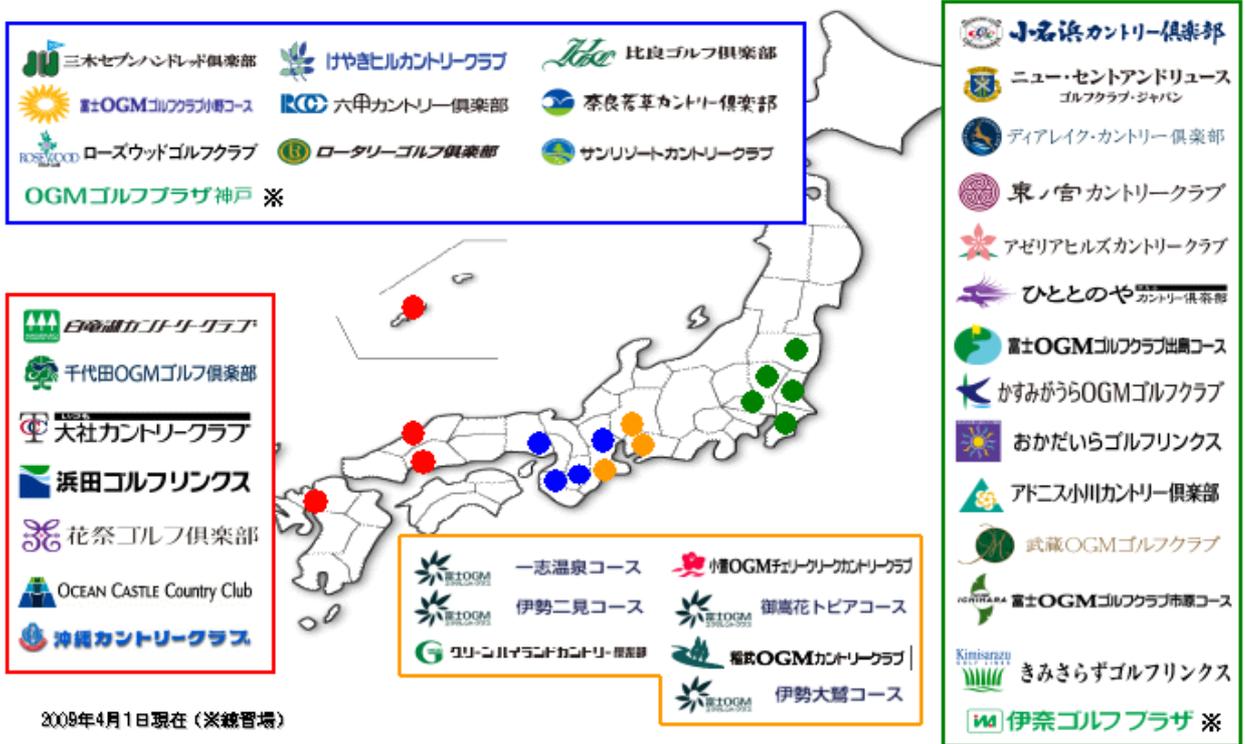
移植後も、沖縄電力グループの株式会社Aqua Culture Okinawaと連携し、サンゴ礁の成長状況などの確認調査を含め、保全・再生活動を続けてまいります。成長過程は、「オリックスの 住まい」で随時報告してまいります。

本プロジェクトにより、サンゴ礁をはじめ、共生する生物を含めた海洋環境の保護を通じて、地球環境の保全に貢献できるものと考えています。

Press Release



OGM運営38施設 (36ゴルフ場・2練習場)



2009年4月1日現在 (※練習場)